



## とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	株式会社稲田本店
所在地	鳥取県米子市夜見町325-16
代表者	代表取締役 成瀬 以久
業種	製造業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・清酒製造業</li><li>・酒類販売業</li><li>・不動産賃貸業</li></ul>

# とっとりSDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名: 株式会社稲田本店]

## 2030年に目指す姿

1-1<2030年に目指す姿> SDGsの達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社がSDGsの達成に貢献するために2030年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

「酒」と「不動産」を提供する当社は、事業が地域へ及ぼす影響を常に意識し、住民との関わり合いの場を絶やさないことで、「鳥取のお酒といえば稲田本店、米子の不動産といえば稲田本店」と言われるほど身近な企業となることを目指しています。地域住民や行政機関などのステークホルダーとの共存を視野にいれながら、米子市に賑わいをもたらすため、自社の強みである「酒」と「不動産」を活かし、企業活動を通じて人々の暮らしの充実に貢献していきたいと考えています。

世界的に気候変動への対策が求められている中、日本酒を製造販売する当社の役割は、温暖化防止であると自負しています。自社工場内で排出する温室効果ガスの主要要因である燃料ガスの使用削減に意欲的に取り組み、また省エネ機器の導入及び更新、太陽光発電など再生エネルギー活用も取り入れることで2030年のカーボンニュートラルを目指します。

また、従業員が仕事にやりがいを持ち、いきいきと働ける企業を理想とし、従業員が多様な働き方を負担なく選択できるような環境となるよう取組を進めます。製造部門が3割を占める当社では、2030年には社内での労働災害ゼロの目標を掲げ、社内全体で健康で心理的な安全さを第一にしながら、従業員の能力を最大限に発揮できる職場を実現します。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

環境4【カーボンニュートラル①】<省エネ>燃料消費量の削減

環境5【カーボンニュートラル②】<省エネ>電力消費量の削減

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

◆環境4【カーボンニュートラル①】<省エネ>燃料消費量の削減

産業革命以降、気球の平均気温は既に1℃以上上昇しており、気候変動によるこれ以上の被害を食い止めるため、気温の上昇を1.5℃以下に抑える努力を追求することがパリ協定で約束された。そのために、2050年までに温室効果ガスの排出を正味ゼロに、2030年には約半減することが求められている。

当社は温室効果ガス削減に対する取組の具体例としてボイラー蒸気(燃料:ガス)を使用する洗瓶機から蒸気を使用しないオゾン水洗浄機に変更、設備の熱排出の再利用、老朽化設備の省エネ設備への更新を目指す。但しそれらの取組に伴い、洗浄機及び省エネ機器等への更新に際する設備投資資金の確保、及び洗浄方法の変更による作業効率の低下が懸念される。

◆環境5【カーボンニュートラル②】<省エネ>電力消費量の削減

我が国は2020年に2050年カーボンニュートラル宣言を行い、2021年には2030年度に2013年度比で温室効果ガス46%削減を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていくことを表明した。

当社はその対策としてエコアラーム導入による「電気のみえる化」、節電マニュアルの作成とその実践、省資源化・省エネに対応した建物改修、社内炭素価格(インターナルカーボンプライシング)制度導入による省エネ設備投資の検討等を行い、電力消費量削減ひいては温室効果ガスの削減に努める。但し電力消費量削減の取組中には屋内での快適性や温度管理が必要な商品の品質への影響が懸念される。また環境4への取組と同様に設備導入に対しては投資資金の確保、節電マニュアルの作成には業務負担の増加が懸念される。

## 社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒造場内での酸欠事故防止のため、従業員に酸素欠乏・硫化水素危険防止主任者の資格取得を実施(都度)</li> <li>・詰場での作業マニュアルを作成し、作業内容の確認・マニュアルの改善を実施(都度)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>酒造現場で生じやすい原因による労働災害ゼロを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造現場・・・タンク・麹室での酸素欠乏に関する事故ゼロ(R6)</li> <li>・詰場作業での転倒・転落・機械巻き込まれ等による労働災害発生件数ゼロ(R6)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素濃度測定の徹底。また機器操作時の作業マニュアルを随時更新し、危険予知を周知する。</li> </ul>
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則にハラスメント防止を規定</li> <li>・心理的安全な職場環境造りの研修実施(R4)</li> <li>・面談による実態把握と改善処置</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント申し立てゼロ(R6)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントをしない、されない環境づくりと勉強会の立案・実施</li> </ul>
3	女性の活躍	○	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 30%(R5) 全管理職に対する女性管理職の割合 17%(R5)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別によらず、職務内容を限定せず誰もが活躍できる働きやすい職場環境づくり</li> <li>・女性の積極採用、希望に沿った就業条件、配置の実施(H22に当社初の女性蔵人採用)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合 30%以上(R7) 全管理職に対する女性管理職の割合 25%(R7 時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県男女共同参画推進企業の認定取得</li> <li>・弊社とマッチングできる機会の向上(随時面談、職場見学等)</li> </ul>
4	障がい者が働きやすい職場づくり	○	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数 1人(R5) (※雇用率 5% R5)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業内容、時間を柔軟に対応し、個々の能力が発揮できる職場環境づくり</li> <li>・具体例:出荷・詰場作業にて短時間での軽作業(ラベル貼り・清掃等)から順次トレーニングを行い、従業員と同様にラベル印刷や瓶詰作業が出来る段階に到達</li> <li>・職場見学・体験による就業へのサポート(鳥取ワーカーズコープ見学)</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数 1人(R6) (※雇用率 5% R6)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場定着への問題・改善点の検討と施策実施</li> <li>・作業マニュアル(作業標準書・商品仕様書)の策定</li> <li>・あいサポート企業の認定取得</li> </ul>
5	多様な人材の活躍	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩な人材確保を目的とし、経験を問わず新卒・中途ともに採用を行っている</li> <li>・非正規雇用者の正社員への登用促進</li> <li>・高齢者の雇用促進および若者への技能継承を目的とし、60歳以上の再雇用制度を設けている</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人材の受け入れ環境の整備とキャリア形成面談の実施(R7)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性を尊重する職場風土の構築と社員教育</li> <li>・人材のキャリア発揮の希望に即した業務付与</li> <li>・柔軟な働き方整備のための業務プロセスの見える化</li> </ul>

★従業員数が43.5人以上の企業の場合は、法定雇用率を満たしていること

6	多様な働き方の 促進	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則での看護・介護休暇の規定</li> <li>・急な休暇に対して柔軟に対応し、カバーし合える体制</li> <li>・有給休暇取得への働きかけ、残業時間削減に対す意識付け</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間休日スケジュールにて有給休暇推奨日を設定し有給休暇年5日取得の上で、5日以上の有給休暇取得(R7)</li> <li>・育児休暇の規定、取得の推進(R7)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇取得のための業務振分けの推進、業務分担方法の策定</li> <li>・就業規則に関する社内研修実施</li> </ul>
7	労働者への人権 配慮	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場で遵守すべき事項の朝礼での発表</li> <li>・局所的な業務集中の解消と過度な業務内容の排除</li> <li>・冷暖房設備導入を含めた、安全で衛生的な職場環境の構築</li> <li>・従業員の健康管理とワークライフ・バランスの観点から有給休暇取得率向上を促進</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント(人権侵害)監視・相談窓口の設置(R7)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的・恒常的な長時間労働の点検体制の整備</li> <li>・管理職のワークライフ・バランス研修を実施</li> <li>・人権配慮への取組姿勢をまとめた社内指針を従業員に公開し、内容を周知する</li> </ul>
9	地産地消	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県産米の積極的使用(現状80%)</li> <li>・地元の果実(梨)、赤紫蘇等を利用したリキュールの製造</li> <li>・地元事業者との積極的な取引(酒粕、米糠)</li> <li>・地元取引先での試飲販売会実施</li> <li>・米子市水道局の協力による、「よなごの水」を用いた清酒の製造</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県産米使用比率 90% (R7)</li> <li>・純鳥取県産清酒のR4年比で製造量1.5倍(R7)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内酒米生産農家との連携、米の確保</li> </ul>
10	地域社会への貢 献 ※環境に関する内容は 環境10に記載してくだ さい	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新酒祭り(春)、夜市(夏)などの地域社会との交流イベントを実施</li> <li>・近隣学校への駐車場の随時貸し出し</li> <li>・小中学・高校生の職場見学、体験の受入れ</li> <li>・米子高専での出張講義</li> <li>・近隣保育園の散歩コース提供(社内緑地)</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本酒、まちづくりを通して賑わいを創造する(R7)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNSを活用し、情報提供の場と機会を増やす</li> <li>・イベント開催数を増やし、地域との交流を促進する</li> </ul>

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	事業継続計画 (BCP)の策定 ★BCPを策定していること	○	【主な取組】 ・感染症対策 BCP の策定、発生時の運用  コロナウイルス感染症拡大により、急遽感染症対策 BCP を策定した。対象者が発生した際には BCP に従い従業員が対処した	【今後の目標・達成時期】 ・総合的な BCP の策定 (R7)、定期的な見直し・改訂 (R7～) ・避難訓練の実施 (年一回 R6～)  【目標達成に向けた取組】 ・総合的な BCP 策定委員会立上げ ・BCP 関連研修会への参加 ・火災発生時等の避難計画の策定
2	セキュリティ対策	○	【主な取組】 ・事務所防犯システム導入済み (北陽警備) ・社内全パソコンへのセキュリティ対策ソフトの導入、OS の更新 ・搬入・搬出業者への立ち会い確認、社内売店への来訪に対する自動通報装置の設置	【今後の目標・達成時期】 ・セキュリティトラブル発生件数ゼロ (R7)  【目標達成に向けた取組】 ・個人情報・機密漏えいに関する社員教育の実施 ・ウイルス感染時の社内対応の策定
3	法令順守の取組の徹底 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必須項目</span>	○	【主な取組】 ・経営トップによる法令順守のメッセージ (随時) ・事業に関わる法令の把握と抵触した場合の影響の分析・対処  特に労働安全衛生法関連、酒税法関連、水質汚濁防止法関連は随時職場内にて確認を行い、抵触の恐れがある場合は速やかに関連機関に報告、善処している	【今後の目標・達成時期】 ・コンプライアンスマニュアルの作成、社内共有 (R6) ・コンプライアンス徹底のための情報周知 (R6) ・各監査機関からの重大なコンプライアンス違反の指摘ゼロを目指す (R6～)  【目標達成に向けた取組】 ・コンプライアンスマニュアルの作成委員会の立ち上げと作成 ・従業員に対してコンプライアンスに関する研修を実施する (年 2 回)
4	情報公開	○	【主な取組】 ・ホームページ (HP) や SNS を設け、製品情報・会社概要・活動内容・採用情報を公開している また web サイトのアクセス解析を定期的に行い、公開情報がより閲覧しやすくなるよう努めている ・工場見学を受入れ、見学者通路に QR コードによるナビゲーション機能を設けて製造工程を公開している ・消費者・取引先に対しトレーサビリティを開示している	【今後の目標・達成時期】 ・HP の商品紹介ページにトレーサビリティを公開する (R7)  【目標達成に向けた取組】 ・オンラインショップを利用されるお客様に対しても製品の安全性をアピールする ・トレーサビリティを含めたより詳細な製品情報をデータ化し、社内でも共有する
5	後継者の確保	○	【主な取組】 社内にて経験、実績にて随時昇任を行うと共に外部より経験者を登用している。 また製造系では蔵人がタンク 1 本分の製造計画の立案と実作業を行うことで、社氏同等へのスキルアップを図っている。	【今後の目標・達成時期】 ・若手経営・技術系幹部の登用・昇任 (R7～)  【目標達成に向けた取組】 ・経営後継者候補の同業他社での研修による経営面・技術面の教育と人脈形成 ・従業員の外部セミナー・勉強会への積極的な参加の奨励

7	<b>自社以外の経営資源活用</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・同業他社と定期的に市販商品の研究会を行い、商品の品質向上を目的とした意見交換を実施 ・県内外を問わず他企業と連携し、PB商品の受託やタイアップ商品のリリースを実施 ・農業試験場・産業技術センター等の県内外の研究機関への原料分析の委託・連携の実施	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・県内研究機関の所有する専門機器(醸造関連・分析機器)を活用した新商品の開発(R7)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・小仕込試験を継続的に実施し、得られたデータを製品の品質向上、商品開発に反映させる ・県産業技術センターの酒造ミニプラントの活用
8	<b>デジタル化による生産性向上</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・タイムカードの電子化・勤怠管理システム導入による集計の効率化及び労務管理の強化	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・商品在庫の見える化による在庫情報の社内周知(R6) ・これまでの経験に基づく瓶詰の計画決めから、商品在庫数、保管日数、冷蔵庫許容量の最適化に基づく瓶詰タイミング・本数の瓶詰計画策定(R7)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・QRコードを利用した資材・商品等の在庫管理システムの構築 ・
10	<b>人材育成・能力開発</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・経営支援事業による瓶詰場でのマニュアル作成等(R3,4) ・外部研修(清酒技術講習会等)への参加(R5) ・技能検定(酒造)での資格習得 ・安心安全な職場環境づくりへの研修(R5)	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・製造関係資格習得(酒造技能士)(R6) ・社内研修会実施(きき酒・瓶詰工程)(R6)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・製造関係スキルマップ作成

## 環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・天候不順による酒米の収穫量減少 ・温暖化による早場米の品質低下による生産量低下及び製造原価上昇 ・豪雨・風雪による室外機器の劣化とそれに伴う修繕費用の上昇  【分析に基づく主な取組】 ・酒米仕入先を複数にしてリスクを分散する ・仕込方法を随時変更して生産量を保持する ・機器の定期点検を行い、重大な故障が起こる前に改修する	【今後の目標・達成時期】 ・気候変動に対応した酒米の使用(R7～) ・機器の突然の故障による、作業中断・商品劣化を防ぐ(R6～)  【目標達成に向けた取組】 ・鳥取県農業試験場、産業技術センターとの各種情報交換、酒米の開発を連携して行う ・耐塩仕様の室外機器への更新
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	【リスク・機会の分析】 ・清酒製造時の洗米排水は糠を含むためBODが高く、排水処理場に高負荷をかけている ・洗瓶時には大量の水と洗剤を使用するため、排水処理場で長時間の処理が必要である  BOD(生物化学的酸素要求量) 水中の有機物を微生物が酸化分解するときに必要な酸素の量。水質が悪いほど(水が汚れているほど)、酸素が必要となるので数値は高くなる。  【分析に基づく主な取組】 ・排水処理場での浄化水を分析し、環境に負荷のないことを確認している(2ヶ月に1回)	【今後の目標・達成時期】 ・使用水量の削減(R4比-20%(R6))  【目標達成に向けた取組】 ・使用水量削減計画の策定、実施 (主な洗瓶方法を水を大量に使用する洗瓶機から少量使用のリンサーへ変更、洗米前の精米の時点で米に付着する糠の削減方法検討)
4	【カーボンニュートラル①】 <省エネ>燃料消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 127t-CO2/年(R5.1 時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可  【主な取組】 ・ボイラーを重油仕様からガス仕様へ切り替え ・ボイラー台数制御装置にて蒸気使用量に応じたボイラー運転を実施 ・ボイラー供給水加温装置でガス使用量削減 ・洗瓶時に瓶をまとめて洗い、蒸気使用時間の削減	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 101t-CO2/年(R8.1 時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可  【目標達成に向けた取組】 ・ボイラー用ガス使用量の確認と削減目標設定(使用日、時間の限定) ・主な洗瓶方法を洗瓶機からオンゾン水使用のリンサーに変更し、蒸気使用量を削減する
5	【カーボンニュートラル②】 <省エネ>電力消費量の削減 重点項目	○	<KPI> CO2 排出量 191t-CO2/年(R5.1 時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)でも可  【主な取組】 電力消費は主に冷蔵庫及び酒造期の機器使用による。冷蔵庫に関しては開閉時間、開閉回数削減、貯蔵品の整理を行っている。酒造期の機器使用は極力無負荷時間の運転を減らす共に、使用機器自体の削減を行っている	【今後の目標・達成時期】 <KPI> CO2 排出量 170t-CO2/年(R8.1 時点) ※売上高あたり排出量(t-CO2/百万円)や基準年に対する削減割合目標などでも可  【目標達成に向けた取組】 ・冷蔵庫は一律の温度管理から使用温度別の商品管理に移行し、設定温度の見直しを図る。また酒造での使用機器は順次最新式の機器に更新する ・エコアラム導入による「電気のみえる化」 ・節電マニュアル策定と社員教育の実施 ・エアコン使用電力量削減のための建物改修 ・社内炭素価格制度の導入による省エネを考慮した設備投資
7	【廃棄物の削減】 ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> 総廃棄物発生量 5t/年(R5 時点) ※売上高あたり廃棄量(t/百万円)でも可  【主な取組】 ・資材入荷時の段ボールは全てリサイクル業者に譲渡、リサイクル資源として活用 ・廃棄物はガラス瓶・不燃物・可燃物とし、ガラス瓶はカラットとして再利用 ・焼酎粕は肥料用資材として活用 ・米糠は全て飼料又はアルコール製造用原料として販売、酒粕は漬物用等で全て販売	【今後の目標・達成時期】 <KPI> 総廃棄物発生量 4t/年(R7 時点) ※売上高あたり廃棄量(t/百万円)でも可  【目標達成に向けた取組】 ・瓶詰時の資材損失(破瓶等)削減 ・事務所、出荷場で発生する廃棄物量の把握とDX化推進による紙ごみ削減

8	<b>水資源の適正な管理</b>	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕込水採水場の草刈り、タンク洗浄等の環境整備及び水質検査(年2回)</li> <li>・焼酎蒸留時の冷却水循環使用のためのクーリングタワー設置</li> <li>・自社排水処理場の運転状況の随時チェック、pH計等の保守管理</li> <li>・製造場の掛流し洗濯機を最新式洗濯機に更新</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水使用量の削減(R5 対比-20% (R7))</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄用、冷却用水の使用節減を社内で周知する</li> <li>・洗瓶機の使用頻度削減</li> </ul>
9	<b>環境配慮型商品・サービスの提供</b> <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機加工酒類の製造認可取得及び商品化</li> <li>・1.8L, 720ml, 300ml 瓶は回収・選別し、極力リサイクルして製品化を行っている 自社引取したリサイクル瓶使用率:10%</li> <li>・リサイクル瓶(一回洗瓶済)の購入</li> <li>・一部商品のシュリンクの廃止によるプラスチック使用量の削減、裏表ラベルの一点化、その他肩掛け等の廃止による紙の使用量削減</li> <li>・箱入れ商品の箱無し販売</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社引取したリサイクル瓶使用率を15%に高める(R6～)</li> <li>・有機加工酒類の品目拡大(R7～)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル瓶引き取りに関して、酒販店等への依頼を促進する</li> <li>・有機米生産農家への圃場拡大依頼、有機加工酒類の認可継続</li> </ul>
10	<b>環境面での社会貢献</b> <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料米生産における耕作放棄地の活用・有機肥料主体の施肥体系への移行</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒類製造時の副産物の肥料への転換(R7～)</li> <li>・耕作放棄地の農地活用面積の拡大(R6～)</li> </ul> <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米糠・酒粕を肥料へ転用し、化成肥料使用率を引き下げる</li> <li>・リキュール原料を含めた自社生産原料比率の一層の拡大を進める</li> </ul>